

## NY マーケットレポート (2017年3月30日)

NY 市場では、序盤に発表された米 GDP や個人消費が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、トランプ大統領が為替操作国に対するペナルティーを検討しているとの関係者の発言が報道されたことを受けて、ドルは下落する場面もあった。

その後は、株価や原油価格の上昇に加え、債券利回りの上昇も加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。一方、南ア・ランドは、ズマ大統領がゴードン財務相の解任を含む大規模な内閣改造を検討しているとの報道を受けて、大半の主要通貨に対して下落した。

### 2017年3月30日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.07	111.43	110.95
EUR/JPY	119.26	119.84	119.22
GBP/JPY	137.91	138.72	137.78
AUD/JPY	85.05	85.49	84.89
EUR/USD	1.0737	1.0770	1.0735

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.34	111.03
EUR/JPY	119.48	119.17
GBP/JPY	138.62	137.75
AUD/JPY	85.33	85.00
EUR/USD	1.0747	1.0731

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.81	111.84	111.01
EUR/JPY	119.44	119.61	119.10
GBP/JPY	139.44	139.49	138.50
AUD/JPY	85.52	85.60	85.17
NZD/JPY	78.28	78.33	77.97
EUR/USD	1.0683	1.0753	1.0680
AUD/USD	0.7650	0.7676	0.7646

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20728.48	+69.17
S&P500	2368.06	+6.93
NASDAQ	5914.34	+16.80
日経225 (CME)	19180	+15
トロント総合	15578.76	-78.87
ボルサ指数	48863.30	-173.22
ボベスパ指数	65265.98	-262.31

### 3/31 経済指標スケジュール

08:01	【英国】3月GfK消費者信頼感調査
08:30	【日本】2月失業率・2月有効求人倍率
08:30	【日本】3月消費者物価指数
08:50	【日本】2月鉱工業生産
09:00	【ニュージーランド】3月ANZ企業景況感
10:00	【中国】4月製造業PMI・非製造業PMI
14:00	【日本】2月住宅着工戸数・2月建設工事受注
15:00	【ドイツ】2月小売売上高指数
15:45	【フランス】2月生産者物価指数
15:45	【フランス】3月消費者物価指数
16:00	【トルコ】4Q GDP
16:00	【トルコ】2月貿易収支
16:55	【ドイツ】3月失業率・3月失業者数
17:00	【ノルウェー】3月失業率
17:30	【英国】4Q GDP
17:30	【英国】4Q経常収支
18:00	【欧州】3月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】2月貿易収支
21:00	【ポーランド】3月消費者物価指数
21:30	【米国】2月個人所得
21:30	【米国】2月個人支出
21:30	【米国】2月PCEデフレーター
21:30	【カナダ】1月GDP
22:45	【米国】3月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米国】3月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1248.00	-8.80
NY 原油	50.35	+0.84
CME コーン	357.50	-1.00
CBOT 大豆	963.00	-6.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.282%	1.270%
3年債	1.530%	1.517%
5年債	1.962%	1.928%
7年債	2.244%	2.198%
10年債	2.416%	2.378%
30年債	3.030%	2.987%

ドイツ10年債	0.333%	0.344%
英国10年債	1.121%	1.150%

### 3/31 主要会議・講演・その他予定

・ミネアポリス連銀総裁 講演

**NY 市場レポート**

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月ドイツ消費者物価指数（前月比） 0.2%（予想 0.4%・前回 0.6%）

3月ドイツ消費者物価指数（前年比） 1.6%（予想 1.8%・前回 2.2%）

3月ドイツEU基準消費者物価指数（前月比） 0.1%（予想 0.5%・前回 0.7%）

3月ドイツEU基準消費者物価指数（前年比） 1.5%（予想 1.9%・前回 2.2%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月南ア財政収支 138億 ZAR (前回 -387億 ZAR)



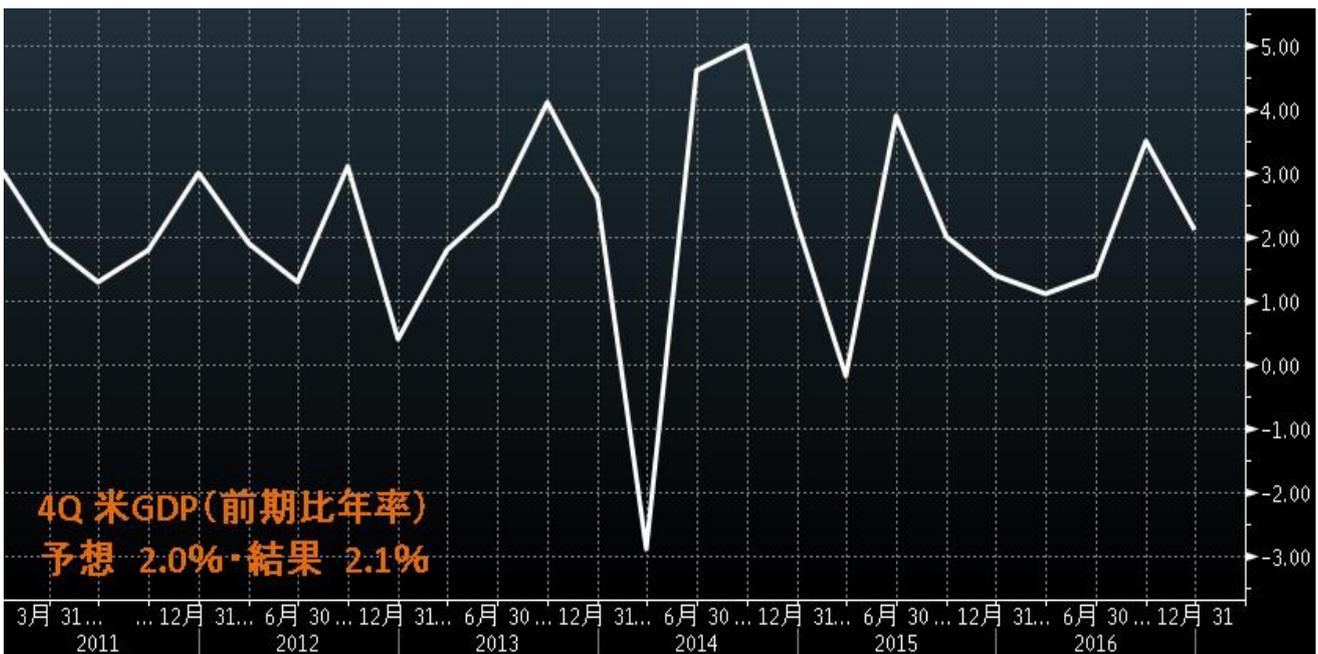
出所：Bloomberg

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q 米 GDP (前期比年率) 2.1% (予想 2.0%・前回 1.9%)

4Q 米個人消費 (前期比) 3.5% (予想 3.0%・前回 3.0%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

#### 指標結果データ

##### 《米 GDP》

4Q 確定・4Q 改定・4Q 速報・3Q・2Q・1Q

GDP	2.1	1.9	1.9	3.5	1.4	0.8
個人消費	3.5	3.0	2.5	3.0	4.3	1.6
耐久消費財	11.4	11.5	10.9	11.6	9.8	-0.6
非耐久消費財	3.3	2.8	2.3	-0.5	5.7	2.1
サービス	2.4	1.8	1.3	2.7	3.0	1.9
設備投資	0.9	1.3	2.4	1.4	1.0	-3.4
住宅投資	9.6	9.6	10.2	-4.1	-7.7	7.8
輸出	-4.5	-4.0	-4.3	10.0	1.8	-0.7
輸入	9.0	8.5	8.3	2.2	0.2	-0.6
政府支出	0.2	0.4	1.2	0.8	-1.7	1.6
最終需要	1.1	0.9	0.9	3.0	2.6	1.2
国内最終需要	2.8	2.6	2.5	2.1	2.4	1.2

2016年10-12月期の米GDP確定値は、年率換算で前期比+2.1%となり、改定値から0.2ポイント上方修正された。GDPの約7割を占めるとされる個人消費が好調を維持したことが押し上げ要因となった。

①個人消費は+3.5%と改定値から0.5ポイントの上方修正、耐久財は下方修正されたが、非耐久財とサービスが上方修正された。輸出は-4.5%とマイナス幅が拡大、輸入は+9.0%と上方修正された。

②企業の設備投資は+0.9%とプラス幅が0.4ポイント縮小、住宅投資は+9.6%で改定値と変わらず。政府支出は+0.2%と、改定値の+0.4%から下方修正された。連邦政府は改定値と変わらなかったが、州・地方政府のプラス幅が縮小した。

③FRBが物価安定の目安とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同期比+1.4%、変動の激しい食品とエネルギーを除く上昇率は+1.7%となり、いずれもFRBが目標とする2%には届いていない。



21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 25.8万件 (予想 24.7万件・前回 26.1万件)

米失業保険継続受給者数 205.2万人 (予想 203.1万人・前回 198.7万人)  
 前回発表の199.0万人から198.7万人に修正





出所：Bloomberg

**経済指標データ**

**《新規失業保険申請件数・継続受給者数》**

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/03/25	258,000	+3,000	254,250	*****	*****
17/03/18	261,000	+15,000	246,500	2,052,000	1.5%
17/03/11	246,000	-6,000	243,000	1,987,000	1.4%
17/03/04	252,000	+25,000	243,500	2,025,000	1.5%
17/02/25	227,000	-20,000	239,750	2,059,000	1.5%
17/02/18	247,000	-1,000	245,500	2,057,000	1.5%
17/02/11	248,000	+11,000	246,750	2,052,000	1.5%
17/02/04	237,000	-13,000	245,000	2,071,000	1.5%
17/01/28	250,000	-2,000	247,000	2,067,000	1.5%
17/01/21	252,000	+11,000	244,750	2,063,000	1.5%
17/01/14	241,000	-4,000	246,250	2,083,000	1.5%
17/01/07	245,000	+4,000	252,250	2,061,000	1.5%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-0.3万件的25.8万件となり、2週ぶりに減少した。申請件数の4週移動平均は、前週比+7750件の25万4250件となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+6.6万人の205.2万人となり、3週ぶりに増加。受給者総数の4週移動平均は、前週比-1250人の203万750人となり、2000年6月24日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週比+0.1ポイントの1.5%だった。

22 : 22

◀ 経済指標の結果 ▶

南ア政策金利 7.00% (予想 7.00%・前回 7.00%)



出所 : Bloomberg

22 : 26

トランプ大統領が、為替操作国にペナルティーを検討と関係者が発言



出所 : Net Dania

22 : 50

◀ 要人発言 ▶

メスター・クレーブランド連銀総裁

- ・「バランスシートは、年内の縮小開始を支持」
- ・「インフレ率は、今後1年ほどで持続的に2%回復へ」
- ・「さらなる利上げが必要になる」

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場はまちまちの結果となった。英国のEU離脱を巡る先行き不透明感を背景に、英FT100指数は上値の重い動きとなり、小幅安となった。一方、独DAX指数はECBが緩和的な政策を継続するとの期待感からほぼ2年ぶりの高値で引けた。

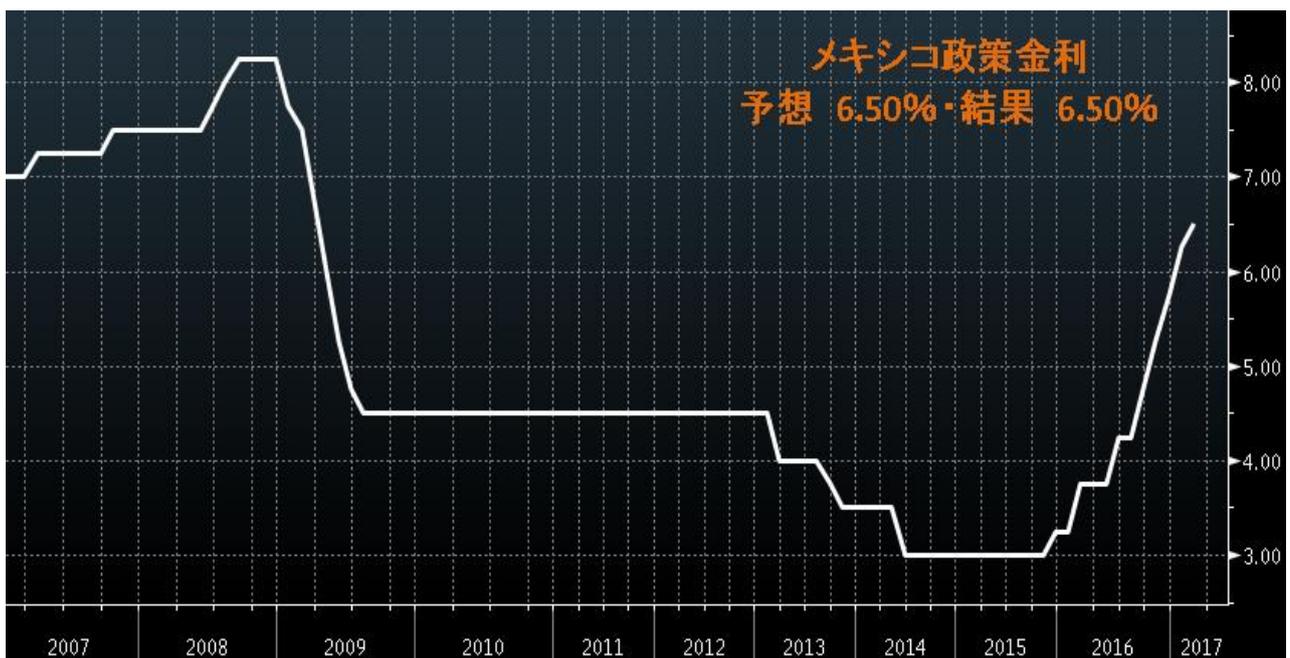


出所：Bloomberg

4:00

＜ 経済指標の結果 ＞

メキシコ政策金利 6.50% (予想 6.50%・前回 6.25%)



出所：Bloomberg



出所 : Net Dania

**4 : 05**

ゴードン財務相含む南アフリカの大規模な内閣改造の可能性が示唆された。



出所 : Net Dania

**4 : 35**

《 要人発言 》

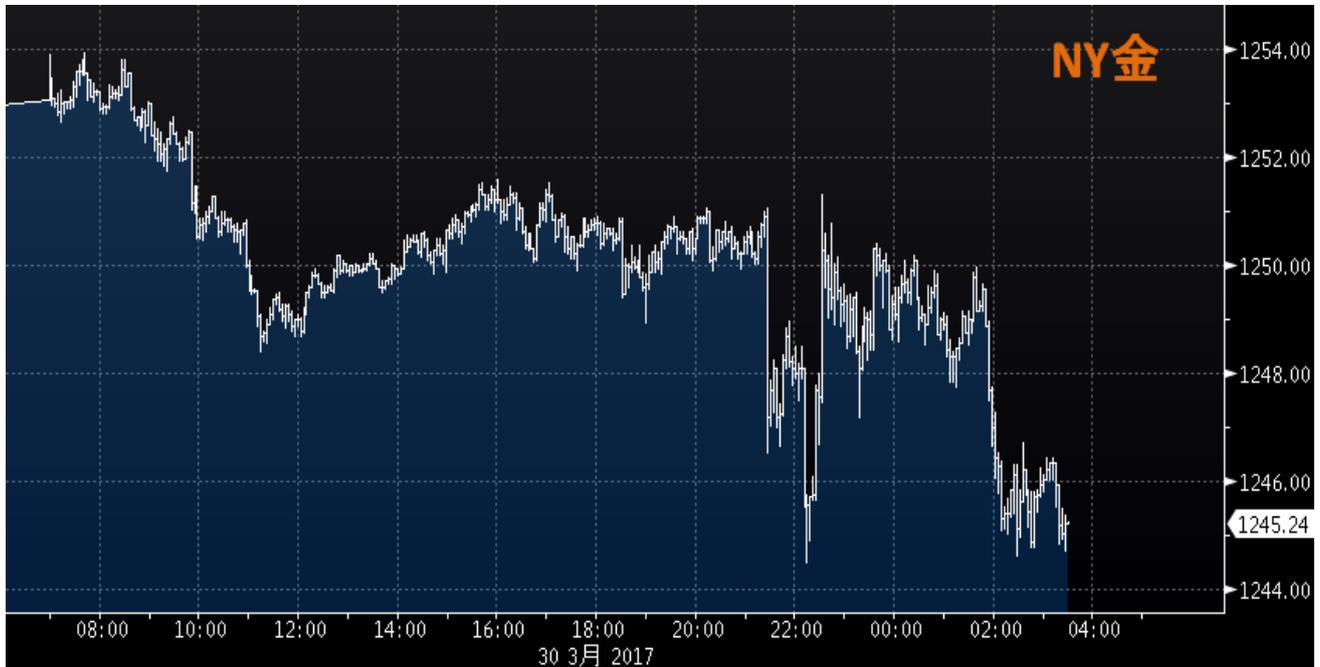
カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「ポンド安は英経済のショックを吸収する材料となる」
- ・「3回の利上げ、今年の基本ケースとなるだろう」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 8.80 ドル安の 1 オンス=1248.00 ドルで取引を終了した。

NY 金は、10-12 月期の米 GDP 確定値が市場予想を上回り、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。

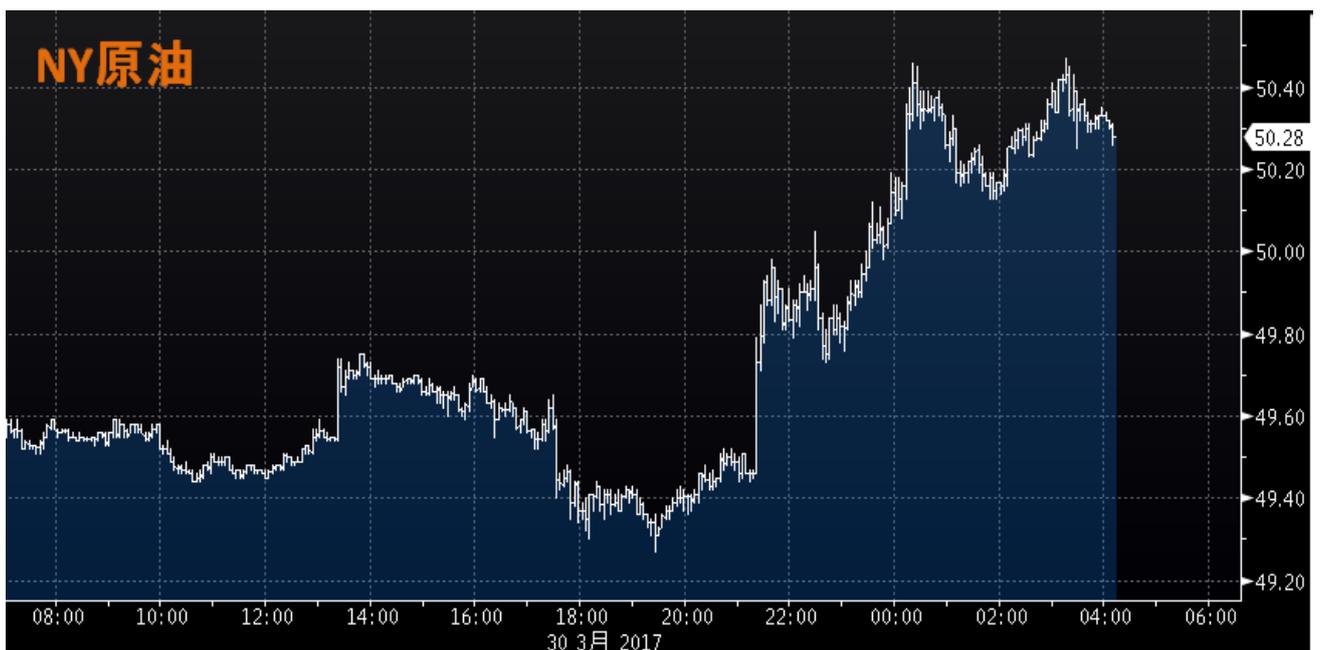


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.84 ドル高の 1 バレル=50.35 ドルで取引を終了した。

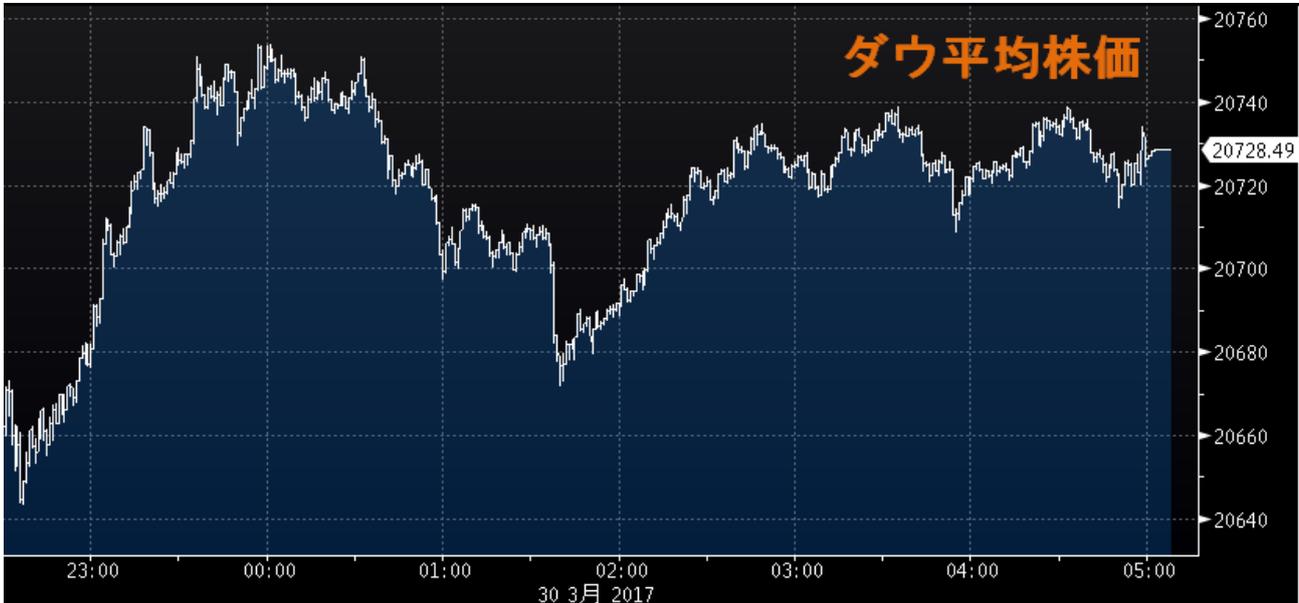
NY 原油は米国の原油在庫の積み上がりに対する懸念が後退したほか、OPEC と非加盟国の協調減産が延長されるとの期待が引き続き材料視され、買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、10-12 月期の米 GDP 確定値が堅調だったことで、米経済への楽観的な見方が広がり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤マイナス圏まで下落する場面もあったが、その後は堅調な動きとなった。ただ、終盤まではやや上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米 GDP や個人消費が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、ドル買い・円売りとなり、クロス円も堅調な動きとなった。その後、為替操作国に対するペナルティーをトランプ大統領が検討しているとの関係者の発言が報道されたことを受けて、ドルが下落する場面もあった。ただ、株価や原油価格の上昇などもあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。